

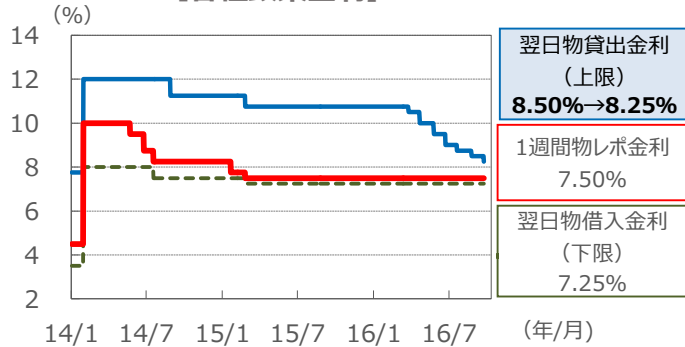
今日のトピック トルコの金融政策（2016年9月）

金利誘導レンジ上限の引き下げを継続

ポイント1 上限金利を引き下げ

- トルコ中央銀行（以下、中銀）は22日、金利誘導レンジ上限の翌日物貸出金利を0.25%引き下げ、8.25%とすることを発表しました。16年3月以来、翌日物貸出金利の引き下げが続いています。
- 一方、主要な政策金利である1週間物レポ金利は7.50%に、金利誘導レンジの下限の翌日物借入金利は7.25%に、それぞれ据え置きました。

【各種政策金利】

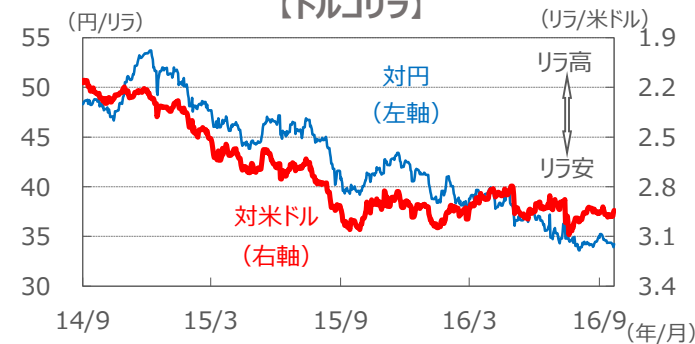


(注) データは2014年1月1日～2016年9月22日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 生産は鈍化、物価も低下

- 7月の鉱工業生産は前年比▲4.9%と、市場予想（ブルームバーグ集計）の同+1.3%を下回り、久しぶりにマイナスとなりました。7月のクーデター未遂に加え、欧州景気の減速から輸出が鈍化したことなどが影響したと考えられます。
- 8月の消費者物価指数は前年同月比+8.05%と、市場予想（ブルームバーグ集計）の同+8.40%を下回りました。中銀の物価目標（+5.00%）を未だ上回っていますが、16年4月以来、前月から低下しました。

【トルコリラ】



(注) データは2014年9月1日～2016年9月22日。右軸は逆目盛。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 金融緩和は継続の見込み、トルコリラは当面安定を模索

- 金融政策決定会合の声明文では、これまで用いられてきた「引き締め的な金融政策を継続する」という表現が、今回は「慎重な金融政策を続ける」へと変更されました。こうしたことから、中銀は今後も金融緩和を継続すると見込まれます。米国で利上げが見送られたことから新興国通貨が選好され、トルコリラは足元では底堅い動きとなっています。ただし、再び政治的な混乱が起きれば資金逃避の懸念があり、トルコリラは当面安定を模索する展開となりそうです。

ここもチェック! 2016年8月24日 トルコの金融政策（2016年8月）金利誘導レンジ上限を6カ月連続引き下げ
2016年7月19日 トルコでクーデター未遂 国民のエルドアン大統領支持の高さを再確認

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。